

熊本県では、地下水や河川の水質の環境モニタリングを
セミコンテクノパーク周辺で行っています。

法令等で規制されていない物質もモニタリング

熊本県では、法令等で規制されている
物質の監視に加え、他県に例を見ない、

**法令等で規制されて
いない物質（1万種類超）**

を対象にした**環境モニタリング**を
セミコンテクノパーク周辺で
行っています。

法令等規制物質の監視

+

規制外物質の環境モニタリング

金属類 : ガリウム等20項目
化学物質: 有機フッ素化合物 約250項目
その他の化合物 約10,000項目
(スクリーニング調査)



環境モニタリングの結果、地下水や河川において多くの物質で、令和6年12月の工場稼働後の影響や変化は確認されませんでした。

環境モニタリングの結果概要

※R7.12までに採水し、分析が完了した分の検証結果

項目		地下水	河川
法令等規制物質		影響は確認されない	影響は確認されない
規制外物質	金属類 18物質	変化は確認されない	<下記以外の物質> 変化は確認されない <W(タンゲステン)> ※詳細は次のページ 坪井川で濃度が増加したが、その後は減少 毒性から試算した値(飲用)と比較したとしても低い濃度
	化学物質 約1,600物質	変化は確認されない	<下記以外の物質> 変化は確認されない <PFBS・PFBA> ※詳細は次のページ 坪井川で令和6年12月～令和7年2月採水分の濃度が増加したが、その後は減少 諸外国の飲料水の目標値等と比較したとしても低い濃度
	その他化学物質 約10,000物質	変化は確認されない	

上記の結果に対する
令和8年2月18日開催の
環境モニタリング委員会
(専門家で構成)の意見概要

・法令等規制物質は、現時点では影響は確認されていない。

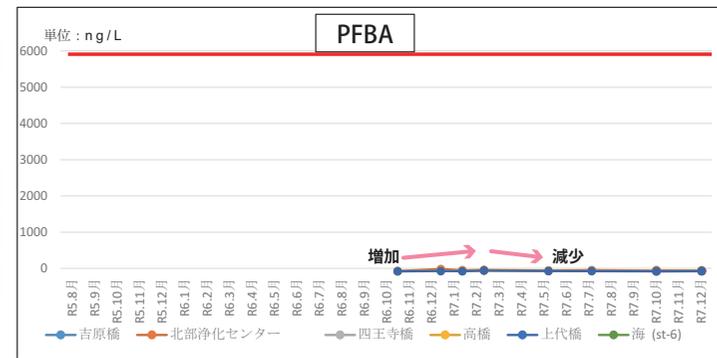
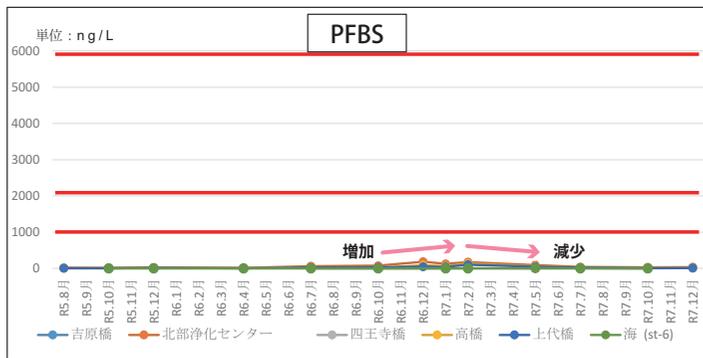
・規制外物質は、多くの物質で明確な変化は確認されていない。明確な変化が確認された物質についても、全国のデータ、諸外国情報、健康リスクの評価から、現時点では、周辺環境へ明らかな影響が生じている状況ではなく、また健康に対するリスクも低い状況と考える。

環境モニタリングのウェブページはこちらから

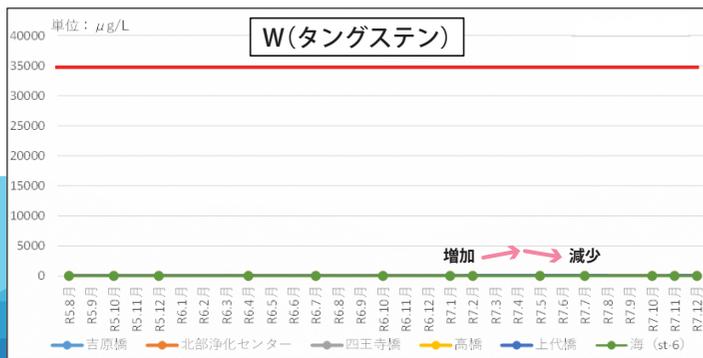
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/186486.html>

環境モニタリングで、明確な変化が見られた規制外物質のPFBS・PFBAとW(タングステン)は、海外の飲料水の目標値等と比較したとしても低い濃度です。

<PFBS・PFBA> 坪井川の有機フッ素化合物(PFBS・PFBA)濃度は、令和6年12月～令和7年2月採水分で増加しましたが、その後は減少しています。海外の飲料水の目標値等と比較したとしても低い濃度となっています。



<W(タングステン)> 坪井川のW(タングステン)濃度は、一旦増加しましたが、その後は減少しています。毒性から熊本県が試算した値(飲用)と比較したとしても低い濃度となっています。



～W(タングステン)とは？～

・自然界に広く存在し、昔から使用されている元素



電球フィラメント



ゴルフクラブ



ボールペン